



A

D

F

C

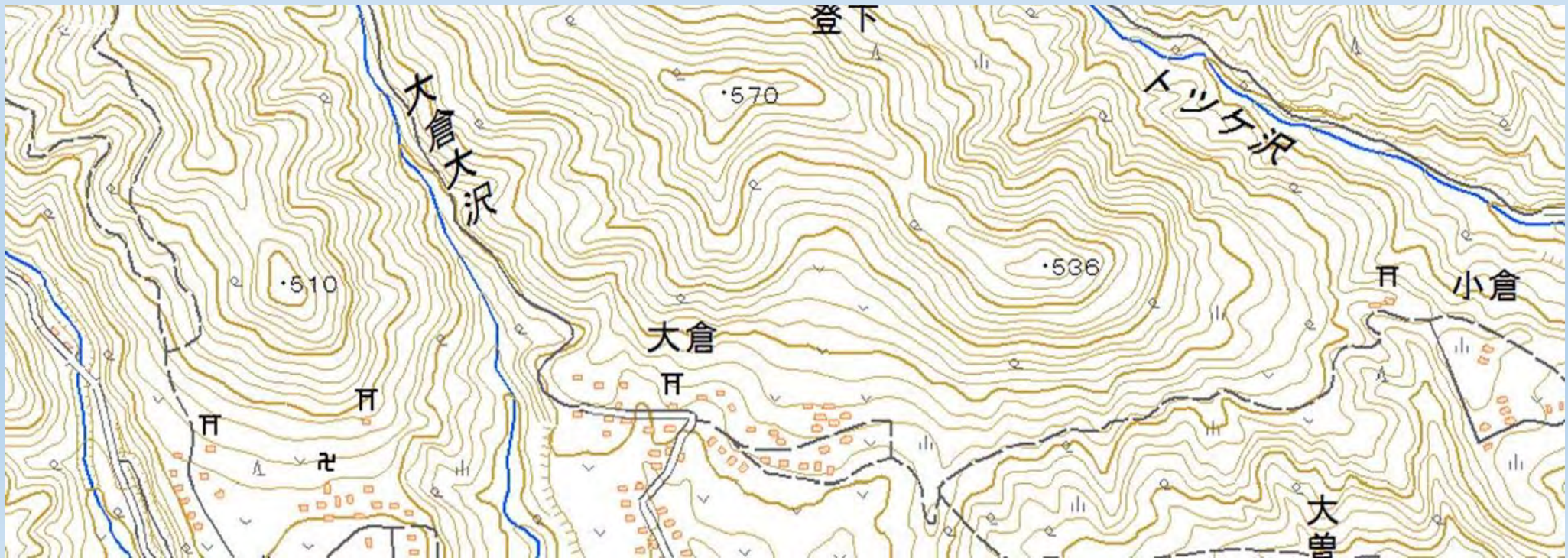
E

B

# ・標高の確認

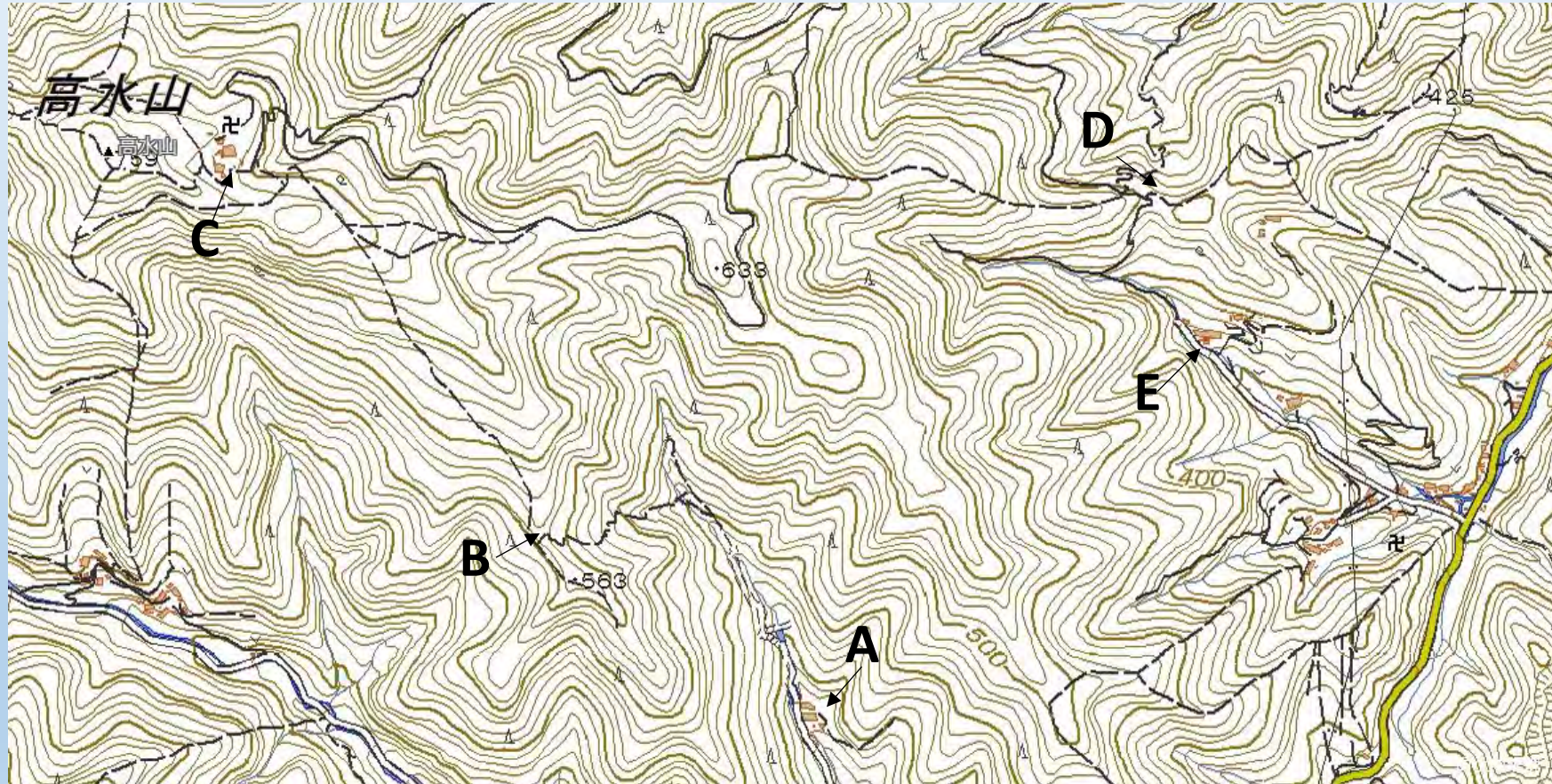
- ・三角点、標高点など標高が表示してある場所をさがす。
- ・するとその場所を取り囲む(もしくはそのすぐ下の)等高線の標高がわかる。  
(たとえば標高点が536<sup>㍉</sup>ならば等高線は10<sup>㍉</sup>刻みなので530<sup>㍉</sup>になる。)
- ・そこから等高線の数を数える。等高線と隣り合った等高線との間の標高差は2万五千分の一で10<sup>㍉</sup>で20<sup>㍉</sup>。計曲線は50<sup>㍉</sup>ごとなのでそれを使うと数えやすい。
- ・標高を知りたい場所に隣接する等高線の標高がわかれば、標高を知りたい場所の大体の標高がわかる。
- ・標高が表示してある等高線から数え始める方法もある。

4つの神社の標高は？(神社は鳥居のマークがあるところ。)

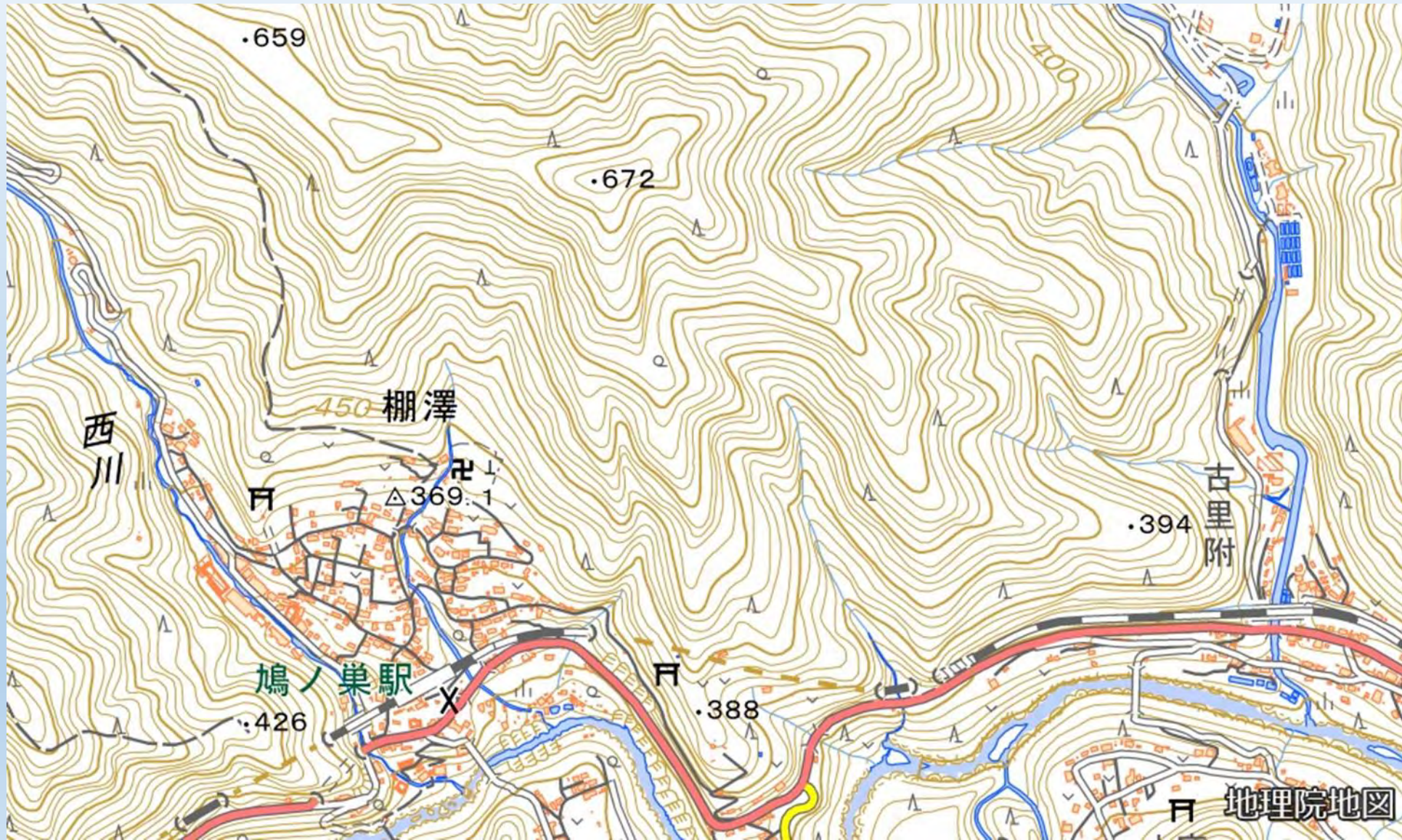


A地点,B地点,C地点,D地点,E地点の標高のどちらが高いか、  
それぞれの標高差は？

・標高点、川とピークが考えるためのヒント



- 下の地形図で頂上・ピークを見つけ、赤か茶で頂上・ピークに△を書き込む
- ヒント:円を描くようにぐるりと等高線に囲まれたところがピーク



尾根と谷は実際に見るとどうなるのか比べてみよう



A



B



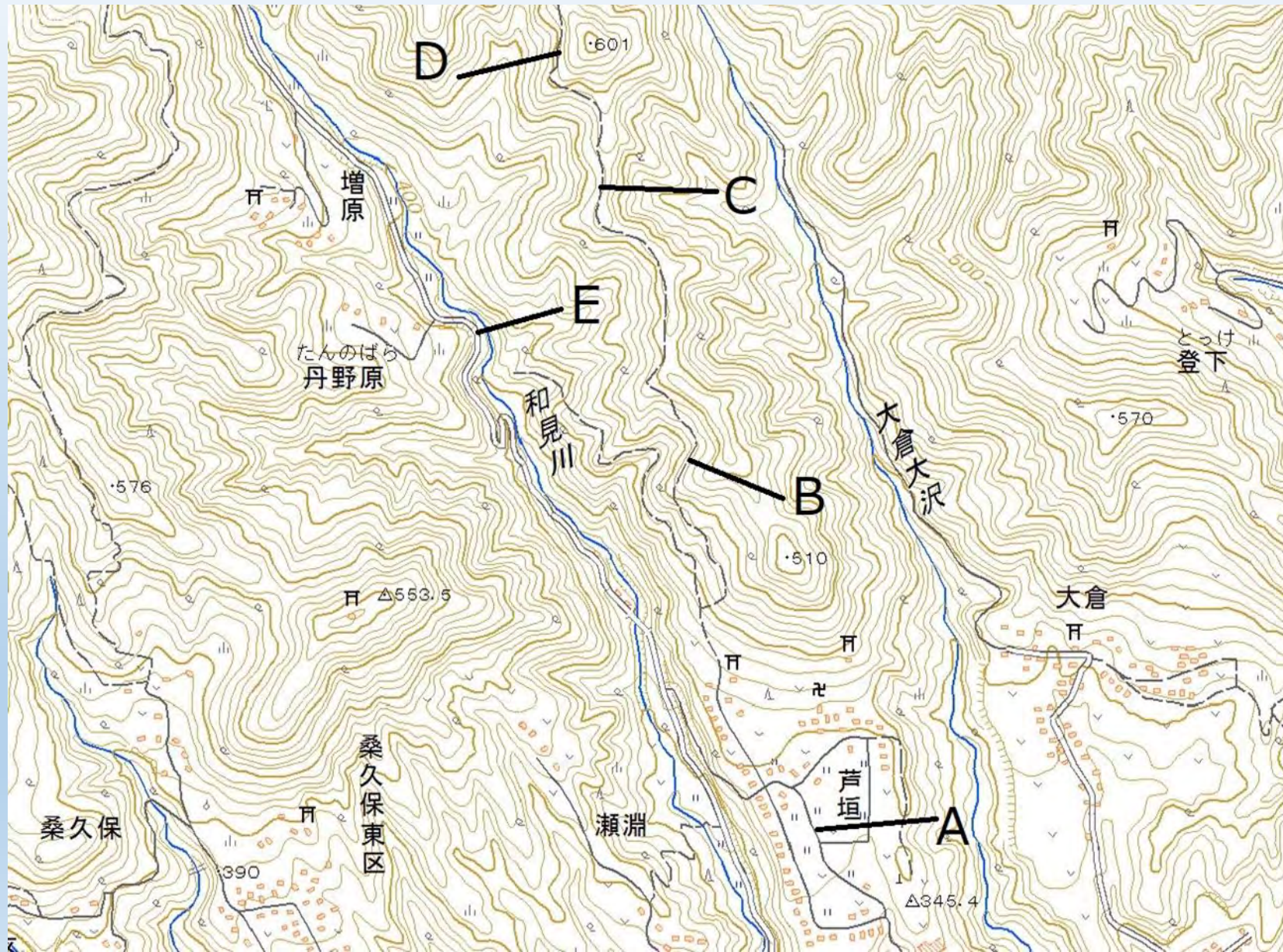
C

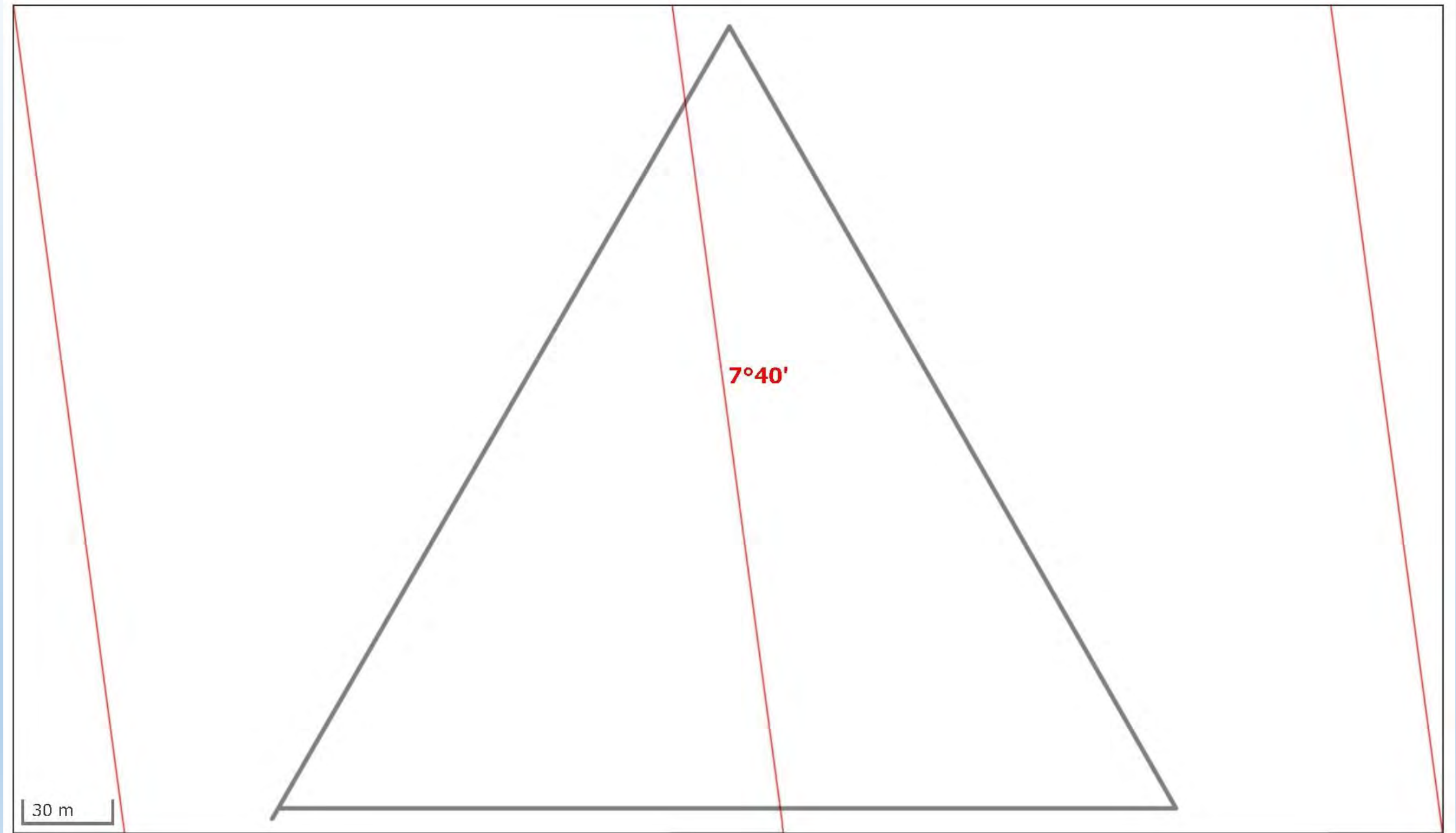


D

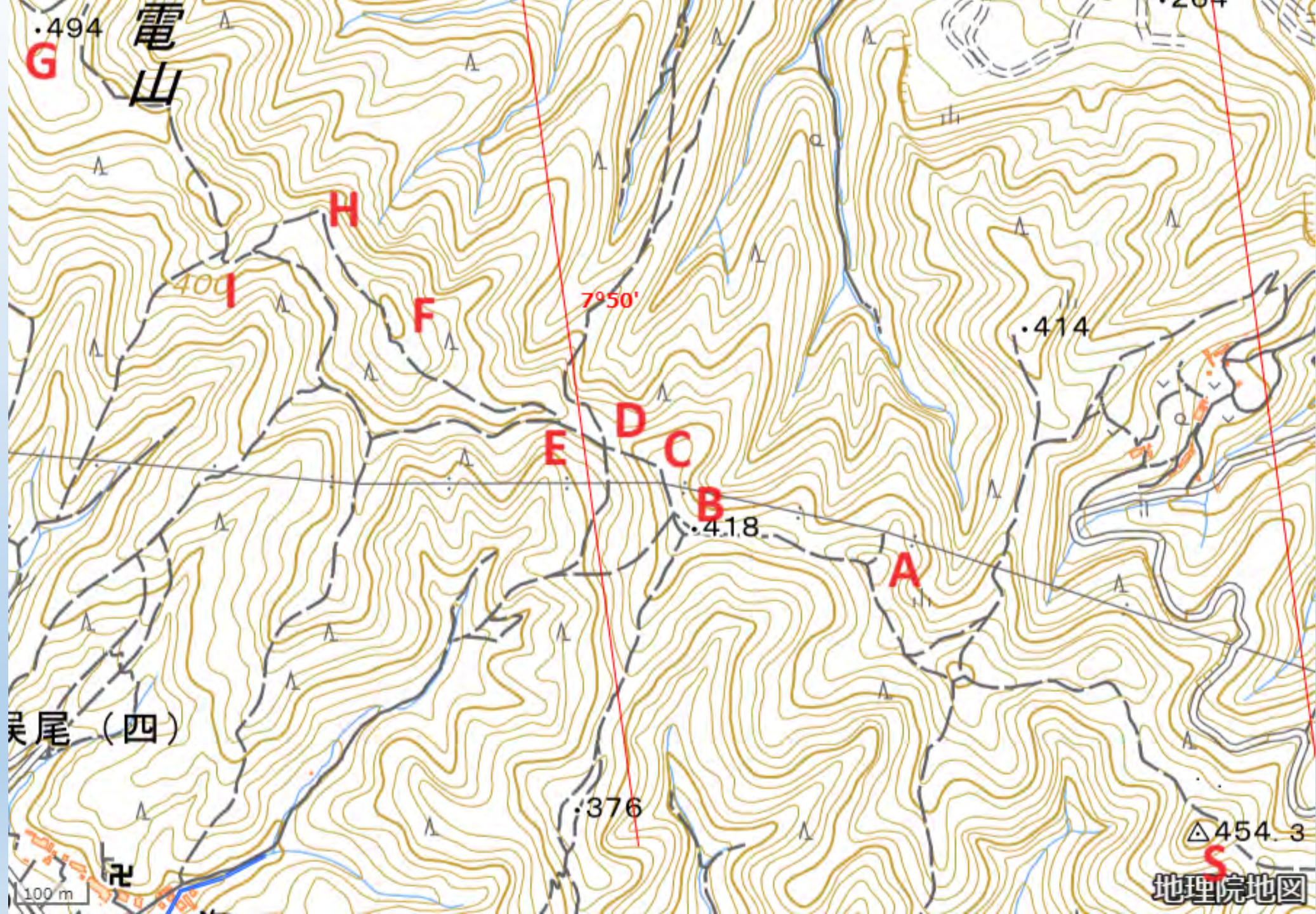


A、B、C、Dは地図上ではこうなる。ではEはどういうところ？









# 実地講習コース

